



学校だより 第4号



宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校（令和3年6月18日発行）

風薫るさわやかな5月はあっという間に過ぎ、色とりどりのアジサイに梅雨の訪れを感じる季節となりました。3週間の教育実習期間が終わり、各学部とも新たな学習に入っています。じめじめとした蒸し暑さに、心も体もくじけそうになる日々ですが、目を輝かせながら活動に取り組む子どもたちの姿に、たくさんの元気をもらっています。

主体的に豊かな社会生活を送るために…

本校で展開される教育活動は、そのすべてが「子どもたち一人一人が主体的に豊かな社会生活を送ること」を目指しています。今回は、高等部と中学部で行われている「進路に関わる学習」の一部を紹介します。

就労体験学習



様々な職種の実践的な職場体験を行い、自分の適性に合った職種について考える機会として高等部1・2年において「就労体験学習」を行っています。今年度は、栃木県青年会館コンサーレ様、たいらや宝木店様に御協力をいただき、年に3回実施します。今年度初回の就労体験学習では、コンサーレ様において、会議室や浴場の清掃等の作業を行いました。実際のお客様や職場の皆様が存在を肌で感じながらの作業は、学校内での作業ではなかなか味わえない、生きた学習となっています。事後学習では、働く態度やマナーの確認を行ったり、自分自身の得意不得意を振り返ったりするなど、それぞれが働くことへの意識を高めている様子が見られました。

産業現場等における実習

将来の社会生活や職業生活に必要な知識、態度及び技能を、実際の現場での実習を通して身に付けることを目指して、高等部において「産業現場等における実習」を行っています。高等部1年時に1回、2年時からは年間3回、卒業までに計7回の実習を行います。1回の実習は、原則2週間としています。生徒一人一人の卒業後の進路希望に応じて、企業就労を希望する場合は企業で実習を行い、福祉サービスを利用希望の場合には福祉関係の事業所で実習を行います。現在、第I期の実習期間に入っており、2・3年生が16の事業所に分かれて実習に取り組んでいます。



校内実習



産業現場等における実習の前段階として、校内での実習を通して働く生活を体験し、職業生活や社会生活で必要となる基礎的な知識、態度及び技能を養うことを目指した「校内実習」が、中学部全学年と高等部1年において行われています。特に中学部1年生は初めての実習となりますが、真剣に取り組む先輩たちの姿に導かれ、一人一人が一生懸命に取り組んでいます。

お知らせ

学校ホームページを随時更新し、様々な情報を発信しています。ぜひ御覧ください。

<http://www.edu.utsunomiya-u.ac.jp/fsight/tokushi/index.htm>

